



しじゅうから

福島市小鳥の森通信 2013年1月号 No.330

小鳥の森で観察してみよう 19

ウソ

分類：アトリ科

大きさ：15.5cm

生態：冬に低地～山地の林に小さな群れで生活します。口笛のような声で「ヒッ、フッ」と鳴きます。

小鳥の森での観察：
春前に広場のサクラの花芽を食べに来る姿を観察出来ると思います。

ペンチのような口ばしは、木の実をパリパリ割って食べるのにちょうど良い形をしています。



のどからほおにかけて赤い色をしています。

わたなべりお 渡辺 莉央

今回のイラストは、わたなべりおさんが描いてくれました。

12月の自然

12月は気温もグッと下がり、雪の降る日が増え路面にも雪が残っていることがありました。

中旬頃には小鳥の森のコナラ林はだいぶ葉っぱが落ちました。

ちょうどこの頃になると給餌台へやってくる野鳥の種類にも変化が見られ、シメやカワラヒワの群れをよく観察するようになり、逆に11月によく見られたゴジュウカラを見る機会が減りました。同じようにヤマガラがやや減って、シジュウカラの数が増えました。雪が降ったり、葉っぱが落ちたりと天気や環境が大きく変わることによって給餌台に来る野鳥にも変化が見られた12月でした。

来月は雪が積もった時は野鳥に変化があるかもしれません。



1月の自然予報

今年の冬はアトリがまだ小鳥の森では確認がありません。小鳥の森では例年初認は10月～1月と年によって大きく異なります。11月には会津地方で大きな群れの情報が、12月下旬にはお隣の宮城県白石市から300～400羽の群れの情報が入ってきました。小鳥の森で今年初めてのアトリを確認するのはいつ頃になるのでしょうか？

アトリの群れ



| 年 | 確認日 |
|------|--------|
| 1998 | 11月23日 |
| 2001 | 9月30日 |
| 2003 | 11月8日 |
| 2005 | 1月4日 |
| 2008 | 1月19日 |
| 2011 | 12月23日 |
| 2013 | ? |



冬に木はどうしているのかな？

秋に植物の中には冬の準備のために冬芽（ふゆめ）や花芽（はなめ）をつけます。春に葉や花を出すために葉が変形した形状で芽を包み冬の寒さに耐えるためです。

種類によってむき出しのだったり、しっかり包まれているものだったりします。

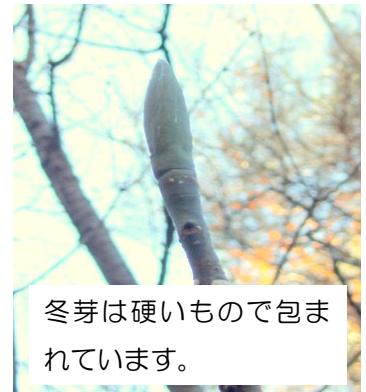
どんな形でついているのか探してみるとおもしろいですよ。

アジサイの冬芽



葉の形がわかるような柔らかいもので包まれています

ホオノキの冬芽



冬芽は硬いもので包まれています。

小鳥の森冬の展示報告

小鳥の森では、様々な展示をしています。

現在、「冬にやってくる野鳥を観察しよう」の展示は、冬に小鳥の森や周辺にやって来る野鳥の生活を紹介します。

「森のクラフトコーナー」では、松ぼっくりやドングリ、木の实を使って動物や鳥など自由に作品を作ることができます。（線量の低い地域や県外から送られてきた自然素材を使用しています。）

おこしの際には是非体験してください。



ネイチャーセンター内での展示の様子



小鳥の森でみい〜つけた①

冬の園内を歩いてみると、葉っぱが落ちていた木にきれいな緑色のかたまりがぶら下がっていました。

よく見るとウスタビガ（ガの仲間）のまゆでした。まゆの下に穴があいていて中に水がたまるように出来ています。

ウスタビガは卵の状態越冬して、4月ごろにふ化して成長し6月中ごろにまゆを作ってさなぎになります。10月から11月ごろに成虫として活動します。



ウスタビガのさなぎ



さなぎの下に水分を抜く穴があります

※福島市小鳥の森では色々なイベントを開催しています。詳しくはネイチャーセンターまでお気軽にお問い合わせ下さい。

*小鳥の森ホームページで小鳥の森スタッフが独自に測定した環境放射線量を公開しています。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時
《入場無料》 休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山字宮脇98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f.kotorinomori.org/> ←アドレスが変更になりました

小鳥の森通信「しじゅうから」2013年1月号No.330/企画・発行：福島市小鳥の森/日本野鳥の会ふくしま